



がっこう

学校だより

令和7(2026)年6月26日
よこはましりつむつうらちゅうがっこう
横浜市立六浦中学校
7月号

「だれもが 安心して 豊かに」生活できる学校を目指して
合言葉は、「六中6つの『あ』」

六中の「いま」をお伝えします。

6月のようす

学習相談の様子



前期中間試験に向け、6月1日(月)、希望する生徒を対象に、学習相談が行われました。各教科の担当教諭が生徒の質問に応じ、各生徒の課題解決の方法や学習方法について解説しました。学習相談に参加した生徒は苦手な部分を改善し、学習意欲の向上を図ることができたようでした。4日(木)、5日(金)の前期中間試験当日も全学年共に集中して取り組むことができました。

昼休み大縄練習の様子



体育祭の学級対抗大縄跳びに向け、昼休みや放課後、各学級ともに熱心に取り組みました。クラスで相談しながら全員のタイミングを合わせたり、失敗した仲間には適切なアドバイスや温かい励ましの声をかけたりして、各クラスの団結力を高めていました。本番ではその成果を十分に発揮し、成長した姿を見せられました。

体育祭3学年綱引きの様子



6月19日(金)、「限界突破～仲間と掴む最高の勝利～」のスローガンのもと体育祭が実施されました。本年度は生徒の主体性を大切にし、個人種目は希望制で実施しました。気温が高く暑い一日でしたが、真剣な競技態度、気持ちを込めて仲間を応援する姿、競技運営に誠実に取り組む各係の様子に感動しました。特に3年生の競技や演技はその表情からも熱い想いが伝わってきました。

体育祭もアカトリドリ ~36か月間の中学校生活のうちの3か月目~ 36分の3

6月は体育祭!梅雨の合間の晴天が広がる中、予定通りの日程で体育祭がおこなわれました。1年生は、個人種目、学年種目の台風の日、そして1か月間練習を重ねた大縄、クラスの選抜者でおこなう学級対抗リレーに参加しました。

今年から自由選択制になった個人種目。50m走、六中の壁、六中走(持久走)には、多くの生徒が立候補しました。各種目に参加した生徒は一生懸命な姿を見せ、そしてそれを応援する姿も素晴らしかったです。六中走女子の部では、1年生ながら全学年の1位に輝いた生徒もいました。

学年種目の台風の日。事前におこなった学年練習では、全クラス失格。そこから各クラスでルールを確認したり、作戦を話し合ったり、修正をしたりしました。当日は、全クラス完走。白熱したレースを見せました。

そして大縄跳び。練習では、なかなか縄が回らず苦戦したクラスもありました。途中からのスランプで回数が伸びないクラスもありました。でも、あきらめずに仲間と励まし合いながら、盛り上げながら練習を重ねました。迎えた本番。気持ちの入った円陣、周りの声援のおかげで、全クラス20回越え、トップのクラスは59回の記録を出しました。

事後の振り返りでは、来年度に向けて「大縄跳びの記録更新」「個人種目への挑戦」「クラスの団結の強化」「応援で盛り上げる」「係活動への積極的な参加への意欲」「上級生としての責任感をもつ」など頼もしいポジティブな意見がたくさん挙がりました。

初めての体育祭もアカトリドリに輝いていました!!保護者のみなさま、地域のみなさま、温かい応援、ご支援をありがとうございました。

支える体育祭終了!

今年度初めての全校での行事。予行練習からあたたかい雰囲気の中で仲間を応援する姿が多くありました。何よりも、体育推進委員の6名を中心に、自分たちの力で作戦を立てたり、気持ちを高めあったりしていたこと。そしてそれが、目に見えるカタチとなって、輪を作っていたこと。仲間の応援や頑張りが力になっていることを感じる事ができた体育祭でした。アルバムの完成が楽しみです。

今年までは背中を魅せてくれる先輩がいて、学校での様々な取組が行われてきていますが、少しずつ2年生が魅せて、学校を彩る順番になってきています。物事を様々な方向から見て、感じて、よりよい仲間の輪を意識して生活して欲しいと願っています。

ユッカの飛躍!ここからさらに成長していきましょう!

学校生活が本格的に動き出したこの数ヶ月。一人ひとりが自分と向き合った定期テストや、学校中が熱気に包まれた体育祭が終わりました。これらの行事の中で、みなさんの素晴らしい「相手意識を持った行動」をたくさん見つけることができ、とても嬉しく思っています。

例えば、テスト期間中の「周りが集中できるように静かに過ごそう」という心がけや、わからないところをお互いに教え合う姿。これも立派な相手意識です。また、体育祭では、得意・不得意に関わらず全員で協力して跳んだ大縄、声をからして仲間を応援する姿、競技が終わったあとにすぐ駆け寄って声をかけたり拍手を送ったりする姿がありました。これらはまさに、「相手の立場に立ち、今自分がどう動くべきか」を考えた行動の現れです。今後は、行事のときだけでなく、この「相手意識」を普段の何気ない日常でどれだけ発揮できるかが、これからの学校生活をさらに豊かにする鍵になります。

来月には個人面談が予定されています。これまでの自分を振り返り、これからの目標をじっくり話す大切な時間です。自分の成長を見つめ直すと同時に、「最近、周りの人に対する態度は大丈夫かな?」「自分の行動で嫌な思いをしている人はいないかな?」と、自分の「相手意識」のアンテナの向きを確認するきっかけにもしてほしいと思います。「誰もが安心して豊かに生活できる学校」をつくり上げるために、みなさん一人ひとりの相手を思う小さな行動を積み重ねていきましょう。

その一瞬にかける6月、そしてラストを飾った体育祭

6月19日(金)に中学校さいごの体育祭が晴天の中、行われました。梅雨時期の6月にも関わらず、学年練習・予行練習・本番と雨に降られることなく、予定通りに行うことができ本当に嬉しく思っています。

体育祭では、準備をしてきたソーラン節の発表がありました。これまでの練習の成果を発揮し、練習以上のパフォーマンスで青学年らしい演舞を行うことができました。学年として、一つのものを作る機会。そしてそれを表現する機会として貴重な場だと捉え、生徒のソーラン節リーダーを中心に活動してきました。演舞の先にいる後輩・家族・地域の方に何かを感じてもらおうという気持ちの生徒でいっぱいでした。少しでもその気持ちが届いていればと思います。また、大縄跳びでも3年生らしい熱闘を繰り広げることができました。昼休みも多くのクラスが練習を重ねていました。楽しい時だけではなかったかと思いますが、その分、達成感や充実感を得ることができたのではないのでしょうか。競技を頑張った人だけでなく、委員会等で運営に携わった係も頑張りました。クラスの活動を引っ張った人もいたでしょう。沢山の人の活躍をみることができた中学校さいごの体育祭でした。次は、六中祭です。どんな発表会になるか、今から楽しみで仕方ありません。

運動部活動を中心に、最後の公式戦を迎えています。学校の外でスポーツをしている人もいます。仲間と共に練習をできる時間・試合ができる喜びと、これまでの努力や積み重ねなど、『今、その瞬間』を大切に、思いっきり力を発揮して欲しいです。心から応援しています！

【保護者の皆さま】

体育祭では、沢山の応援をいただきありがとうございました。保護者の方に会場の雰囲気をつくっていただいたお陰で、子ども達は全力で競技に参加することができました。7月は、2週目より3者面談を予定しています。これまでの学校生活を振り返り、生徒にとって有意義な面談ができればと思っています。ご協力お願い致します。

先日、体育祭が終了しました。本年度の体育祭は今までの反省から生徒の声を反映させて大きな変更を各所に加えた中で実施した体育祭でした。生徒の皆さんは柔軟に新たな流れに適応し、楽しんでいたように見えました。また、オープン種目に積極的に出ていた生徒は、ほぼ休みなく活動していた生徒もいたのではないのでしょうか？ そんな中気になったのは「応援の力」です。中でも学級対抗リレーの時は強く感じました。自分たちの代表を全力で応援している姿は本当にかっこいいですし、美しく、輝いて見えます。そして、その声援に力をもらい選手も+αの力を発揮していたのではないのでしょうか。自分の出る種目・出ない種目、自分の学年・他学年などいろいろな活動がありましたがどんな時でもその時頑張っている仲間や先輩、後輩に周りの大きな声援を送ることで、体育祭が盛り上がったのだと思います。ぜひ次の合唱祭や来年の体育祭などでも様々な交流を通して絆を深め、力強い声援を皆に送りましょう。その後押しによって勇気をもらう生徒が必ずいるはずですよ。皆で盛り上げていきましょう！また、今後地域行事などを通して学校内だけでなく地域との絆も深めていってほしいと思います。地域の方々も皆さんを頼りにしています！一丸となって一緒に地域を盛り上げていきましょう！